

市民ニーズ等現況分析プロジェクト

プロジェクトチーム活動報告

令和7年11月12日(水)

プロジェクトチームの設置目的と活動領域

設置目的

調布のまちの現状をWell-being指標から分析し、今後の調布スマートシティ協議会の活動を検討

活動領域

～8月31日

Well-Being指標調査実施

回答数 349人(調布市民のみ) 395人(調布市民以外も含む)

10月上旬

調査結果をダッシュボードに反映

<https://well-being.digital.go.jp/>

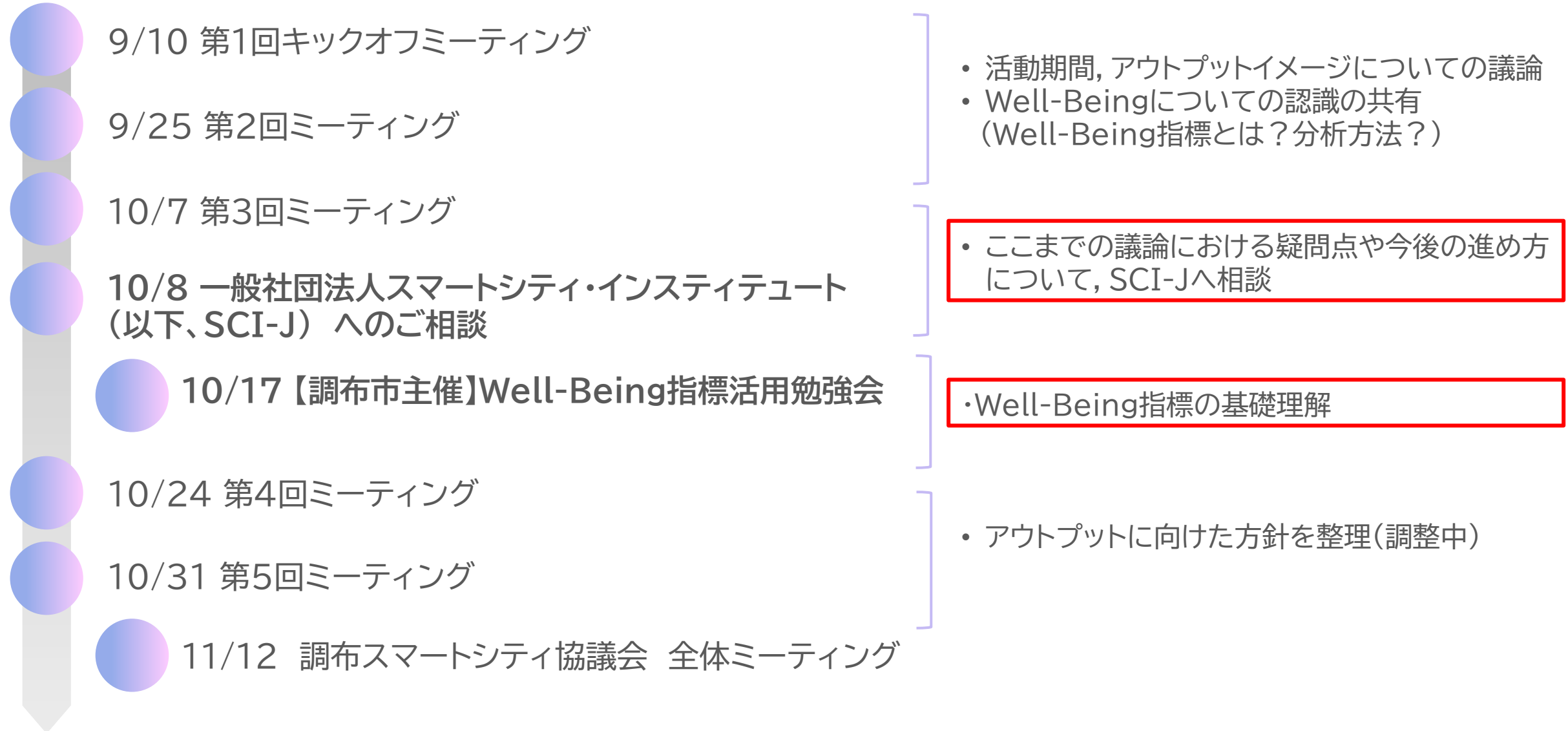
プロジェクトチーム
の活動領域

今後の調布市スマートシ
ティ協議会の活動に
つながる示唆



活動履歴

計5回のミーティングを開催し、プロジェクトチームの設置目的を踏まえた活動期間やアウトプットなどについて議論、整理



今後の活動予定について

これまでのプロジェクトチーム内の議論を踏まえ、今後の活動は以下のように決定

活動期間

令和7年12月末まで

- ・「(仮称)調布市スマートシティビジョン」策定(令和8年1月頃から着手予定)の動きと連動を図るため

アウトプットイメージ(目標)

以下2点を、令和7年12月下旬開催予定(日程調整中)の調布スマートシティ協議会全体会議にて報告

1. Well-Beingアンケートの分析結果(プロジェクトメンバー各々の視点で見た「調布のまちの実態」について)
2. 上記や以下のワークショップ受講を踏まえた今後の協議会活動につながる示唆(以降は、協議会全体で協議)

実施内容・スケジュール

「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、計2回のワークショップを実施

現在、12月末までのアウトプットに向けてスケジュールを調整中

	候補日	時間	目的(案)	内容(案)
第1回	12/4(木)	1～2時間	<ul style="list-style-type: none">・ 調査結果の分析をより効果的なものにするため、Well-Being指標についての理解を深める	<ul style="list-style-type: none">・ ゲーム形式の実践研修
第2回	12/12(金)	4時間	<ul style="list-style-type: none">・ Well-Being調査結果から見える調布のまちの実態について考える・ まちの見え方の差について考える・ これまでのプロジェクト活動を踏まえ、協議会に還元できる示唆は何か、とりまとめる	<ul style="list-style-type: none">・ ダッシュボードから調布市の特長を読み取る・ SWOT分析結果をもとに、プロジェクトメンバー各々が8つの注力分野を選定。各々の選定の違いについて考察・ プロジェクトメンバー間の意見交換、すり合わせ